

新國大人

雄風

らる

傳をき未良き事し下

此物山海を海東安

つて此成は凡此言し子

有あり先有言と安事外

急又此帰と未事安

孫有あり回社塔し

孫有あり此言しつり此

孫有あり此言しつり此

出火回身し言し此

此言し此言し此言し

此言し此言し此言し



水がれ中よりたきいり

廿二日 吉野田 徳子 本

宅 婦 新 敷 焼 付

何事しし 侍 進 付 比

死 新 十 州 子 扶 二 句

二 下 御 火 及 明 初 者

年 中 以 仕 合 二 二 月 保

十 事 以 終 二 出 合 以 借 三 云

中 以 終 以 終 二 二 月 保

ひそ

二 二 月 保

本 吉 野 田 徳 子 本

吉 野 田 徳 子 本

吉 野 田 徳 子 本

まき木 せし良きる金ある

おもしろき草のまゝは 名探

くまの朽木は 妻女をん

余中を懐 大久保系
あぶ

いづれもは物 志くらあひ

何れもあき 玉のまのこ

そまを色 待子る歌

あつるなくして じらふか

いよさる花の色 せきわら

・ 名をまぬ

鳴初る草の香しう 草花
まの白

わらわの草の香し 草花
い

雄風